

創立146周年

学校便り

令和4年度

No.5



# 進取

令和4年9月16日発行

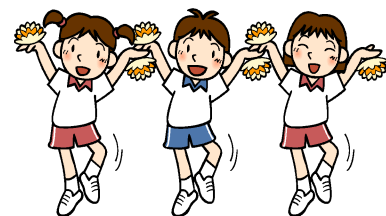
阿久根市立阿久根小学校  
29学級 児童数433人

## 運動会を楽しもう！！

校長 深川 光久

9月に入り、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。やはり、子供たちがいると学校が活気づきます。コロナ禍でも、夏休みはいい家族の時間が過ごせたでしょうか？家族や地域を感じるいい体験ができているといいなと思います。

さて、9月になると、早速運動会の練習が始まり、学校にはダンスの曲がよく流れ、子供たちも一生懸命練習に取り組んでいます。今年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、感染拡大防止のため午前中だけの開催とします。昨年度とだいたい同じような流れだと考えてください。



そんな中でも、「運動会を楽しもう」ということで、運動会の深～い楽しみ方をご紹介したいと思います。それは、「経過を含めて楽しむ。」ということです。運動会では、子供の一生懸命な姿や1年1年の成長を見ることが親として一番の楽しみだと思えます。子供たちは運動会の練習が始まり、その様子を家でも話することでしょう。かけっこや短距離走の練習では、「〇〇さんと同じ組だった。」とか「今日は練習で何番だった。」と話したり、ダンスの歌を家でも歌ったり、踊って見せたり、高学年になるとなかなかダンスを見せなくても、不意にダンスの動きをしていたりすると思えます。

そんな時に、子供たちの気持ちを聞いたり、「楽しい曲だね。」「上手になってきたね。」と声を掛けたりしてください。そして、それが親子の会話の始まりとなれば、運動会までの子どもの気持ちや考え方の変化が分かるものです。そんな子供たちの気持ちや考え方を聞いた上で、本番の運動会を見ると保護者としても、見る気持ちが変わったり、終わった後の言葉のかけ方が変わってくると思えます。終わった後の「がんばったね。」の言葉も、それまで子どもと話をしていたときの「がんばったね。」と本番を見ただけの「がんばったね。」は親の気持ちのこもり方と子供の受け取り方が違うのではないのでしょうか。

さらに、子供たちの言葉から、友達への考え方や関わり方の成長が見られると、日頃なかなか目に見えない子どもの心の成長が見えるてくることもあります。友達のいいところを褒める言葉だったり、みんなで協力している姿が見えたりするような会話があるときは、ぜひ褒めてあげてください。自分が無意識にしていることを褒められると、「いいこと」として子どもの中で価値付けられ人との関わり方に生かしていくことでしょう。



10月2日（日）の運動会で、それぞれの子供たちが思いをもって運動会に取り組み、その思いを汲み取って、親子の会話をしていただければ、より運動会を楽しめると思えます。ぜひ、たくさん話をしてください。

連絡メールを「マチコミ」に変更します。9月26日（月）までに、お子さんそれぞれに「マチコミ」への登録をお願いします。9月27日（火）から、現在使用している「学校安心・安全メール」は使用しません。

